

2026 年 9 月吉日

研究委員各位

(一社) 日本非破壊検査協会
2 次元検出器を用いた材料評価の実用化研究会
主査 黒瀬 雅詞

2026 年度 第 2 回「2 次元検出器を用いた材料評価の実用化研究会」 研究会開催案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。委員の皆様には平素より委員会にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

本年度第 2 回目の表記研究会を 2026 年 12 月 11 日に下記の要領で開催いたします。新たに材料評価のための $\cos \alpha$ 法の研究・開発及び普及活動を通して、幅広いコミュニケーションをつくりあげたく考えておりますので、何卒ご指導ご支援を賜りますようお願いいたします。

標記の件につきまして、下記のとおり、研究会を開催しますのでご出席下さいますようお願い申し上げます。お手数ですが、ご都合を折り返し、ご返信下さいますようお願いいたします。

敬具

記

日 時：2026 年 12 月 11 日（金）13:00 ～ 16:30

（同日 10:30 より幹事会を開催いたします。幹事をご参集願います。）

主 催：（一社）日本非破壊検査協会 2 次元検出器を用いた材料評価の実用化研究会

開催形式：ハイブリッド（現地開催および Web 開催の併用）

会 場：a) 現地…石川県文教会館（〒920-0918 石川県金沢市尾山町 1 0-5 ）

Zoom を併用したオンライン開催

b) Web…Zoom（視聴用 URL はお申し込みの方に後日ご案内）

参 加 費：無料（非会員の方も参加可能）

参加申込：参加申込は次の Google フォームから受付けております。

<https://forms.gle/sST1eH3FQMYjKuBKA>

尚、セキュリティの関係で Google フォームにアクセスできない場合は、

メールにて事務局（beppu@jsndi.or.jp）までお問い合わせください。

準備の都合上、11 月 20 日（金）までにお申し込み下さいますようお願い申し上げます。

※当日の参加は受付できませんのでご了承ください。

2026 年度 第2回 2 次元検出器を用いた材料評価の実用化研究会 プログラム

2026 年 12 月 11 日（金）石川県文教会館 （ハイブリッド）

司会：鷹合滋樹（石川県工業試験場）

開会挨拶(13:00)

1. 13:00-13:05 研究会活動計画・報告

主査：黒瀬雅詞（群馬工業高等専門学校）

2. 13:05-15:50 講演会

(1) 塑性加工・熱処理シミュレーションの活用事例と動向

～CAE を用いた残留応力予測から AI 技術連携まで～

○佐々木良、岩間 史夏（(株)SCSK）

市販の塑性加工シミュレーションを用いた解析における一般事例や、材料評価に重要となる熱処理シミュレーションの活用事例について解説します。さらに、最新の開発動向や AI 技術と関連したソフトウェア（最適化、サロゲートモデル等）の連携事例についても外接する予定です。

(2) CAE による塑性加工と残留応力場（仮）

○黒瀬雅詞（群馬工業高等専門学校）

成形解析ソフト Simufact forming を用いた 3 次元応力場の解析事例について解説します。X 線残留応力測定によって得られる情報と解析事例によって得られる情報の比較などを通して概説する予定です。

(3) オーステナイト系ステンレス鋼を対象とした表面加工由来の残留応力評価

○山田卓陽（(株)原子力安全システム研究所）、三島由久（(株)X線残留応力測定センター）

オーステナイト系ステンレス鋼に表面加工を施した際の残留応力の変化について実物を対象に評価した結果について解説します。

(4) $\cos \alpha$ 法および三つの改良法による非線形ひずみ信号処理と MSCR による応力状態推定

○三島由久（(株)X線残留応力測定センター）

前回のセミナーに引き続き、「応力の実体を見よう。今まで見ていたのは影だった。」をテーマに、 $\cos \alpha$ 法による応力状態の表現方法と、非線形ひずみの信号処理による三つの改良法について解説します。さらにそれらを用いてモールの応力円リバーズ MSCR による応力状態の推定についても解説を行います。

3. 16:00-16:50 交流会

座長：江尻正一(岩手医科大学)

内容：交流促進のため、参加者全員に対して、自己および会社・業務等の紹介、課題（事前アンケート結果も含む）・問題提起などを行い、情報共有・交換、議論を行う。

閉会挨拶(16:50) 佐々木敏彦（金沢大学）

4. 18:00-20:00 親睦会（会場周辺予定）

注）座長及びプログラムは変更される場合があります。

- ・講演中のカメラやスマートフォン等による撮影は原則禁止としております。撮影される場合は事前に登壇者の了承を得た上で登壇前に座長へ申し出るようお願いいたします。
- ・交流会は状況により変更の場合もございます。
- ・プログラムは一部のみの参加でも可能です。

問合せ先：（一社）日本非破壊検査協会 学術部学術課
「2026 年度第 2 回 2 次元検出器を用いた材料評価の実用化研究会」研究会係
TEL:03-5609-4015 FAX：03-5609-4061 E-mail：beppu@jsndi.or.jp